

今治市大三島美術館 30周年記念 館蔵品展「田渕俊夫展」作品リスト  
平成28年12月10日(土)～平成29年3月20日(月)

	作品名	分類・形状	寸法(cm)	制作年
1	庄内川（講談社刊 吉川英治全集「太閤記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
2	洲股城（講談社刊 吉川英治全集「太閤記」口絵）	紙本彩色	24.5 × 33.5	1980
3	矢作川（講談社刊 吉川英治全集「太閤記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
4	一乗谷（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
5	長篠城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
6	安土城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
7	鳥取（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	24.5 × 33.5	1980
8	三木城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
9	余呉湖（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
10	高松城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	24.5 × 33.5	1980
11	天王山（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
12	大阪城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
13	長久手（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	24.5 × 33.5	1980
14	犬山城（講談社刊 吉川英治全集「太閱記」口絵）	紙本彩色	33.5 × 24.5	1980
15	大地 II	下図	29.8 × 29.8	1994
16	大地	下図	23.9 × 50.6	1996
17	大地	紙本彩色	171 × 364	1998
18	熱砂の道	紙本彩色	171 × 364	1999
19	爛漫	紙本墨画	171 × 364	2003
20	水	紙本彩色	159 × 231	1996
21	灼熱の午後	紙本彩色	165 × 338	1998
22	時の証人 I	紙本彩色	200 × 785	2000
23	時の証人 II	紙本彩色	200 × 345	2000
24	時の証人 III	紙本彩色	162 × 261	2000
25	大地	紙本彩色	136 × 284	
26	流転 I	下図	46 × 59.5	1982
27	流転 II	下図	45 × 55.5	1983
28	ヨルバの神々	下図	42.5 × 59.2	1968
29	ヨルバの神々	紙本彩色	164 × 228	1968
30	ヨルバの少女	紙本彩色	120.5 × 76	1969
31	やまはぜの頃(部分)	下図	96 × 60.5	1974
32	やまはぜの頃	下図	116.7 × 71.7	1974
33	やまはぜの頃	紙本彩色	116.7 × 72.7	1974
34	刻	下図	134 × 99.5	1994
35	旅の窓から 一刻	下図	31.5 × 65	1994
36	旅の窓から 裏窓	紙本彩色	116.7 × 90.9	1999
37	旅の窓から 運河	紙本彩色	116.7 × 90.9	1994
38	旅の窓から 運河	下図	119.5 × 93.5	1994
39	春萌ゆ	下図	22.4 × 45.9	1987
40	兆	下図	93 × 68	1991

	作品名	分類・形狀	寸法(cm)	制作年
41	野の彩 「あさがお」	リトグラフ		
42	野の彩 「あきのねげし やぶまめ はぎ」	リトグラフ		
43	野の彩 「へびいちご」	リトグラフ		
44	野の彩 「がくあじさい」	リトグラフ		
45	野の彩 「ひまわり」	リトグラフ		
46	野の彩 「ふうせんかづら」	リトグラフ		
47	野の彩 「はぎ」	リトグラフ		
48	「のいばら」	リトグラフ		

#### 田渕俊夫氏略歴:

1941年(昭和16)東京都江戸川区に生まれる。1967年東京芸術大学大学院修了。1968年第53回院展に「ヨルバの神々」が初入選、71年春の院展で「秋宴」が奨励賞(以後6回受賞)、81年には外務大臣賞を受賞。また1971年には第15回シェル美術賞展で佳作賞受賞、78年「安曇野」が 第1回東京セントラル美術館日本画大賞展優秀賞、79年「輪中の村」が第5回山種美術館賞展 優秀賞を得る。1982年第1回前田青邨賞、同年第67回院展で「流転」が日本美術院賞・大観賞、83・84年と連続奨励賞、85年には第70回院展で「叢叢讃歌」が2度目の日本美術院賞・大観賞を受賞し、日本美術院同人に推挙。1988年第73回院展では文部大臣賞、94年には「大地 I・II」で第79回院展内閣総理大臣賞を受ける。学生時代は心象風景を描いていたが、卒業後アフリカへ旅し灼熱の太陽のもとで逞しく生きる植物に感動したのがきっかけで雑草を描き始める。その後、大和などの風景を主題とし、80年代に入って再び草花を題材とすることが多くなる。近年は奈良の心象風景、旅窓から見た生活情景のほか、インドや中国、ベトナムなどを題材としている。精緻な線描と緑や青など淡い色彩を特色とする作品は叙情味を帶びて清く澄み、古典的な優美さを醸している。

1996年大三島美術館に田渕俊夫記念展示室がオープン。以後同館で個展開催。

現在、日本美術院代表理事。

#### 【応接室】

	作者名	作品名	分類・形狀	寸法 (cm)	制作年
1	村上 佳苗	イロ	キャンバス、油彩		
2	村上 佳苗	城山	立体		
3	村上 佳苗	昔語	キャンバス、油彩	145.5 x 112	2012
4	村上 佳苗	いまおるとこ	立体		2016
5	村上 佳苗	潮汲み	キャンバス、油彩		
6	村上 佳苗	大潮	キャンバス、油彩		
7	村上 佳苗	御手ノ真中	キャンバス、油彩	162 x 130.3	2010
8	村上 佳苗	どうか	キャンバス、油彩		
9	多和 圭三	無題	鉄		1993